

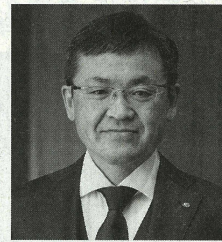


企業訪問

(50)

中日本建設コンサルタント

上下水道・河川・廃棄物などの水環境分野と道路・橋梁・鉄道など交通分野を柱に、本社（名古屋市中区）および東京と大阪2つの支社をハブとする全国42拠点体制で社会インフラ関連のコンサルタント業を展開する中日本建設コンサルタント。建設事業に関する相談や技術指導、調査・計画・設計・監理に始まり、インフラ分野での活用が期待できるICT技術の提供やDXの推進等、時代とともに変化する事業分野に対し、培った技術と社員一人ひとりの研鑽（けんくわん）協力会社との連携を強化し、多様化する時代のニーズに 대응している。創立60年の節目に本社移転し、一層の飛躍を目指す庄村昌明代表取締役社長に現況と展望について聞いた。



庄村社長

りをなくし、共用スペースを広く確保。全体を見渡しやすく、コミュニケーションが取りやすそうな仕様だ。

「例えば豪雨への対応は河川だけの対応ではなく、上下水道も関係する。資源循環を考え、資源循環を考えると廃棄物と下水もつながる。これからの課題解決のため移転先を探していたところ、適したところが見つかった。『今までの社屋が手狭になったため移転先を探していたところ、適したところが見つかった。』

設立された。

「弊社の事業は6割が上下水道などの水環境、4割が河川・廃棄物などの水環境分野と道路・橋梁・鉄道など交通分野を柱に、本社（名古屋市中区）および東京と大阪2つの支社をハブとする全国42拠点体制で社会インフラ関連のコンサルタント業を展開する中日本建設コンサルタント。建設事業に関する相談や技術指導、調査・計画・設計・監理に始まり、インフラ分野での活用が期待できるICT技術の提供やDXの推進等、時代とともに変化する事業分野に対し、培った技術と社員一人ひとりの研鑽（けんくわん）協力会社との連携を強化し、多様化する時代のニーズに 対応している。創立60年の節目に本社移転し、一層の飛躍を目指す庄村昌明代表取締役社長に現況と展望について聞いた。

「今までの社屋が手狭になったため移転先を探していたところ、適したところが見つかった。『今までの社屋が手狭になったため移転先を探していたところ、適したところが見つかった。』

とともに技術の研鑽を図る。向上に期待を寄せている。

また、同社が培ってきた高度な専門技術をコンサルタントとして顧客に提供する場合には、各種の国家資格が必要になることから研修制度を充実。技術士資格取得支援プログラムでは、先輩社員によるメンター・プログラムの論文添削指導など、切にしている。

中部で培ったインフラマネジメントを全国へ

人と技術の総合力で20年先を見据えた環境貢献を

インフラで、4割が道路や橋梁、鉄道などの交通インフラ。2本柱が確立しているのは社の成り立ちによるものだが、この特徴をぜひ強みにしたい。3月に公表された南海トラフ地震の被害想定でも、核心は上下水道等のライフラインと道路や鉄

る国土強靱化にも総合的に貢献できると思う。近年の水害に対して浸水シミュレーション・ハザードマップ作成など、業務範囲は拡大一途だが、竣工間もない田舎の16階建てビルの2フロアで、13階部分に

て組織を改編し、水関連部門を統合して「水環境技術本部」とした。新体制を後押しするのが昨年8月に移転した新社屋が、一番重要なことで、什器の配置や運用は部署ごとに任せた。

場所が見つかった。60周年を機としたわけではなく、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』

「若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。決には広い視野を持って、提案でき、多分野をマネジメントする力が必要になる。従来の縦割りの組織では、柔軟に横断できる人材を育てていく。『若い社員が多く合格して、今年はいく人が合格した。』



開放的で明るい新オフィスの様子